

世田谷・生活者ネットワーク



区議会議員
高岡じゅん子

生活者ネットワーク
世田谷区議団 政調会長
福祉保健常任委員会
地方分権・本庁舎整備
対策等特別委員会



介護保険、利用者目線で改定を！

介護保険制度が発足して20年、世田谷区の介護保険事業は第7期に入っています。3年前、要支援1・2の高齢者サービスが、「介護予防・日常生活支援総合事業」に移行されました。世田谷区は、地域の住民と協働し地域デイサービスなどの全28地区での開催を目指して来ましたが17団体の活動に留まるなど、3年経っても、地域主体のサービスを全区に行き渡らせるには程遠い実態です。このことを、決算特別委員会でも明らかにし、区長から厚生労働省などに対し、現場を置き去りにした介護保険制度の改定は行わないよう申し入れを求めました。

この回答は、あくまでも先送りというところで、介護現場で働く方が希望とプライドをもって働き続け、利用者が安心してサービスを受けられる保障には至っていません。現在、世田谷区第8期介護保険事業計画策定に向けた調査活動などが進んでいます。10年後、20年後に自分たちが必要とする地域福祉・高齢者福祉の形を世田谷区に作っていくため、生活者ネットワークは今年も提案を続けていきます。

10月28日の国会院内集会和、11月11日に北沢タウンホールで開催された「介護の日フォーラム」にも参加。生活クラブ運動グループの皆さんや、地域の介護事業者の皆さんと共に、利用者目線に立つ



衆議院会館院内集会で発表者と共に

「cafe こんちえる」2階にミニ図書室OPEN!

環七沿いに昨年10月末から開店したカフェ、共生社会のモデルとして見学を兼ね、立ち寄ってくださる方が少しずつ増えています。生活者ネットワークの集めた、環境や福祉、女性問題などについての本を置いた2階のミニ図書室も1月中には利用可能になります。是非お気軽にお立ち寄りください。



「ゲノム編集食品って何が問題？」学習会報告 ～表示されないゲノム編集食品～

講師の天笠啓祐さん(環境ジャーナリスト)のお話はとてもわかりやすく、遺伝子組み換えとゲノム編集が同等の危険性があることがわかりました。「一つの遺伝子には千の機能があり、たんぱく質を分解する遺伝子だけを狙っても他の機能を壊してしまう可能性もある」とのこと。

遺伝子組み換え食品には表示義務がありましたが、ゲノム編集食品については表示もされません。環境影響評価も食品安全審査もされず、知らず知らずに私達の食卓にのぼることになります。消費者としてはとても不安です。

今後は、世田谷区の学校給食には、遺伝子組み換えやゲノム編集食品を使わないよう求めています。



【アクセス】京王井の頭線 新代田駅 徒歩3分
小田急線 世田谷代田駅 徒歩6分

【住所】世田谷区代田4-7-17

【営業時間】11:00～18:00(毎日営業、不定期休)



区議会議員
田中みち子



区議会議員
金井えり子

生活者ネットワークは市民と議会・行政をつなぐパイプ役として、地方議会に議員を送りだしています。世田谷・生活者ネットワークの区議会議員は、田中、高岡、金井の3人です。2020年の活動にご期待ください。

テーマは「環境・平和・福祉」



4月の区議会議員選挙で当選を果たし、生活者ネットワーク区議会議員活動も仕上げの3期目9年目になりました。この1年間、議会で取り上げた主な論点は左の囲みの通りです。

福祉に関しては、表面でも報告した通り介護制度の課題に広く取り組みました。人材確保については、特に女性が安心して介護現場で働けるため、セクハラを防止用パンフレットの発行を区に求めました。

平和に関しては、超党派で「政府に核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書」の提出を求め、3月

と5月の2回にわたり議員提出議案を本会議に提出しましたが、議会の多数決に阻まれ可決できませんでした。第2回定例区議会では、教科「道徳」を、シチズンシップ教育として意味のある、子どもの主体性を引き出すものにすることを求めました。

環境分野については、世田谷区本庁舎へのRE100電力の購入を促し、電力自由化を活用した電力入札による経費削減など更に積極的なエネルギー施策を求めました。

世田谷区一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに向け、構造的に炉室内のダイオキシン漏れ対策が

必要な「世田谷清掃工場」の早期廃炉や、レジ袋などを使う事業者を巻き込んだプラスチックごみの削減の具体化などを求め質問しました。最終処分場の問題や清掃工場建て替えコストなど、二十三区清掃一部事務組合が間に入っていることで区民に見えにくくなっているごみ処理の問題点を明らかにし、今年も区民と共にごみゼロ社会に向けて進みます。

昨年、巨大台風による災害が世田谷区を襲い、玉川地域を中心に多くの方が被災されました。被災された方に心からのお見舞いを申し上げます。都市型災害の特徴として、コンクリートで固められた街路が川のようになり、流れ込んだ下水が溢れる内水氾濫があります。この被害を、雨水を受け止める樹木や土、浸透

性舗装などによって軽減するのがグリーンインフラです。4年後から住民税徴収に合わせ一人一年千円の森林環境税が徴収され、森が荒れ保水力が落ちてきている山林の維持管理・更新に充てられることが昨年3月法制化されました。これは全国レベルでのグリーンインフラの取り組みです。徴収に先立ち、昨年から3千4百万円の森林環境譲与税が区に交付されています。戦後植えた樹が、多摩でも川場でも立派に育っています。都市部での活用が健全な林を育てることにつながります。川場村との交流をベースに「健康村・里山自然学校」のさらなる充実や、川場村産材の利用促進、生物多様性を支える豊かな森づくりに取り組んでいくことを提案しました。

今年も高岡じゅん子は、環境、平和、福祉の3大テーマを掲げ、皆様からの情報を活かし議会活動を進めていきます。



多摩の木材市場で活用を待つ木材

一般質問の項目と意見開陳

第1回定例会

- 1.世田谷区における再生可能エネルギー活用の促進について
 - 2.ソーシャルミックスを活かした福祉のまちづくりに向けて
 - 3.世田谷区のごみ処理の将来像について
- ・「核兵器禁止条約の署名と批准を求める意見書」賛成意見

第2回定例会

- 1.若者の政治参加と投票率の向上について
- 2.在宅介護現場でのハラスメント防止と定着支援の強化について

第3回定例会

- 1.障がい者差別解消の推進について
 - 2.プラスチックごみ対策の前進に向けて
 - 3.介護人材の確保に向けた特定技能在留制度の活用について
- ・「天皇即位賀詞」反対意見

第4回定例会

- 1.森林環境譲与税を活用した豊かな森づくりについて
 - 2.働きがいの見える福祉現場づくりと支え手の確保について
- ・「幼児教育・保育の無償化についての意見書」賛成意見

「せたがやピースアピール」のお知らせ

平和部会 駅前定期街宣活動
 毎月第3木曜日 18:00~18:30
 奇数月:三軒茶屋駅 偶数月:下北沢駅

集団的自衛権行使容認の閣議決定から5年半、平和と立憲主義を訴えてきました。日本国憲法前文を朗読します。一緒にアピールしませんか?詳しくはFacebookページ「せたがやピースアピール」をご覧ください。



ピースアピールの様子

